

平成27年度 沿岸環境検討会での意見対応について

平成28年7月20日



国土交通省 出雲河川事務所

■平成27年度 沿岸環境検討会での意見対応について

平成27年度の沿岸環境検討会において種々のご意見を頂いたところであるが、主な意見への対応について以下のとおり整理した。

意見の概要	委員名	対応
浅場整備箇所から流出した土砂の漂砂範囲等、施工区間以外の影響範囲も含めた広域的な調査が必要ではないか。	枡見委員	浅場整備箇所以外の周辺も含めた広域的なモニタリング（案）を作成した。平成28年度のモニタリング調査から対応したい。
構造物に頼らない浅場造成への発想の転換 浅場造成の構造物と景観とのバランスへの配慮	中村委員 國井委員	平成28年度 予定工事の浜佐田箇所において、漂砂防止施設をなくし、砂の投入のみを基本とした構造を検討した。また、突堤は波の受け側のみにする事とし、景観に配慮して突堤高を低くした構造として、試験的に工事を実施する予定である。
浅場整備による鳥類への影響の把握	佐藤委員	平成27年度のモニタリング調査において、穴道湖 3箇所、中海 2箇所の計5箇所で鳥類調査を追加して実施した。
主要二枚貝調査について、アサリ以外の二枚貝についても生物多様性の観点からの評価軸として整理してはどうか。	佐藤委員	平成28年度のモニタリング調査として、中海の1箇所で、ホトトギスガイの生息状況調査を計画した。
（中海 中原地区 湾内への浅場造成） 水質への影響が想定される突堤の形状変更	枡見委員	ご意見を伺いながら、突堤の設置方向等を見直して工事を実施した。
（中海 中原地区 湾内への浅場造成） 湾内への浅場造成は施工しない範囲も含めて一つのエリアとして調査を実施した方がよいのではないか。	枡見委員	平成27年度のモニタリング調査において、湾内の施工範囲外にも調査地点を追加した計画として調査を実施した。